

枕崎

202

特集

市長 就任のごあいさつ
新春行事 Photo Snap

鬼火焚きと枕崎舞炎鯉のよさこい
<関連4ヶ>

「日本一幸せな2万人のまち」を目指して

共に、前へ。

◎市長就任あいさつ



前田市政、 2期目のスタート

任期満了に伴う枕崎市長選挙
が1月23日に執行され、無投票
となり、前田祝成氏が再選しま
した。

枕崎市民の皆さんへ

こんにちは、前田祝成です。
この度、1月23日の枕崎市長
選挙で無投票となり、枕崎市長
に再選されました。無投票という
ことで、市民の皆さんにはご自身
の民意を示す投票という機会が
失われ、心苦しいところもありま
すが、その分、4年前の1期目の
当選時よりも重い責任を痛感し
ているところです。

これまでの4年間の市政運営
については、市民の皆さまのご理
解、ご協力と職員の働きに支え
られ、私なりに力を注いでできま
したが、まだまだ取り組むべき課
題は多く残されていると感じて
います。枕崎市の強みである産
業の競争力を高めること、まちの
未来を担う子どもたちの育成、
そしてすべての市民の皆さまが
住み慣れた地域でそれぞれが自
分らしく暮らすことができ、暮らし
に満足できる地域共生の社会
づくりに向けて仕事を進めてき
ました。この2年間は、新型コロ
ナウイルス感染症という世界中
を覆ったパンデミックの中で市民
の命と暮らしを守ることに奔走
していました。この流れはしばら

く続きですが、必ずポストコ
ロナ（コロナ収束後の時代はやつ
てきます。そのポストコロナの社
会の中で枕崎はどうあるべきか、
そして10年先、20年先の枕崎は
どうあるべきかをイメージして、
市民の皆さまの幸せを確かなも
のとすべく「日本一幸せな2万人
のまち」という目的に向かって、
これから4年間、2期目をス
タートさせることとしています。

- 農林水産業の最適な将来像を描き、成長産業に育てます。
- 地域経済を支える枕崎ブランドの価値をさらに高めます。
- 地域内経済の好循環により、商業、観光、起業促進を活性化させ、地域経済に新たな流れをつくります。

子育て支援

- 中長期の小児医療、周産期医療の体制を整備します。
- 0歳児から2歳児までの保育料を低減します。
- 子どもたちのプログラミング能力向上の取り組みを推進します。

暮らし・コミュニティ

- 高血圧ゼロの街プロジェクトなど、健康寿命延伸に取り組みます。
- デマンド型(利用者の事前予約に応じて運行経路や運行スケジュールを決定する形態)の新しい地域公共交通の仕組みをつくります。
- スポーツ、芸術のまちとして、関係人口増加に取り組みます。
- 令和6年度の南薩地区新クリーンセンター(仮称)稼働に伴い、内鍋清掃センターをごみの運搬中継と資源ごみの中間処理を行うごみ処理中継施設として供用開始します。

産業と水産業を基点とする水産加工業、茶、花き、果樹、畜産などの農業、芋焼酎などは、わが国の経済課題であるモノの価格低迷を解決できる高いポテンシャルを持つています。昨年制作した本市のPR動画は「丁寧・本物」という本市で産み出される商品の品質を表現したものです。それらの品質が正しく評価され、産業の付加価値を高める努力をさらに強く進めていくことは、私の2期目の重要な課題です。飲食業や宿泊業、交通事業などコロナ禍で多大な影響を受けた産業を

はじめ、各種サービス業も人口減少の中ではありますが、さまざまなイベント、行事などを活用し、関係人口増加に取り組み、活性化させていきます。
地域で生み出された再生可能なエネルギーを地域内で消費することにより、脱炭素・経済・防災などの地域課題の解決につなげていく取り組みの基盤となる地域新電力の立ち上げに早急に取り組みます。地域新電力を通じて、再生可能エネルギーへの転換による脱炭素社会への貢献を果たすとともに、地場産業の持続可能性の確保を図り、これまで市外に流出していたエネルギー

コストを地域内にとどめることで、経済の地域内循環を創出します。また、公共施設等における分散型電源の強化による防災力の強化を図るなど、「エネルギーの地産地消」による地域活性化に取り組みます。
さらに、子育て支援、学校教育や医療、介護など、暮らしに直結する地域共生社会の実現に向けては、市民の皆さまの声に耳を傾け、職員一同で取り組みます。これから4年間、市民の皆さんと「共に、前へ」進んでいきましょう。引き続き、よろしくお願ひいたします。





1月9日、消防出初式が市民会館で開催されました。今年も新型コロナウィルス感染症の感染防止対策のため、式典や市中パレードは中止し、表彰式のみ開催されました。各部門での表彰者は次のとおりです(敬称略)。

【日本消防協会会長表彰】

勤続章=上園信一(金山・分団長)、川野紀文(桜山・分団長)

【鹿児島県知事表彰】

勤続章40年=土屋孝一(団本部・団長)

勤続章10年=白澤正明(中央・班長)、立石卓矢(中央)、板敷忠助(立神)、駒水大作(立神)、神谷章(別府南)、福元孝一(別府北)、山崎隆広(元立神・班長)

【鹿児島県消防協会総裁表彰】

功績章=中原博和(別府北・副分団長)、森尚資(中央・班長)、笠原守(桜山)、沖園久志(金山)、大園宗敏(金山)、大園和寛(金山)

精績章=西之原拓二(別府南・副分団長)、田中大誠(立神・部長)、俵積田孝一(別府南・班長)、眞茅昌俊(別府北・班長)、宮路真洋(立神)、前野昌明(桜山)、山之内辰郎(金



山)、桑原康広(別府南)、山崎洋輔(別府南)

【鹿児島県消防協会川辺支部長表彰】

勤続章15年=西之原拓二(別府南・副分団長)、田中大誠(立神・部長)、俵積田孝一(別府南・班長)、眞茅昌俊(別府北・班長)、宮路真洋(立神)、前野昌明(桜山)、山之内辰郎(金山)、桑原康広(別府南)、山崎洋輔(別府南)

優良分団=別府北分団

【市長表彰】

優良事業所表彰=薩摩酒造株式会社

勤続章10年=白澤正明(中央・班長)、立石卓矢(中央)、板敷忠助(立神)、駒水大作(立神)、神谷章(別府南)、福元孝一(別府北)

優良分団=別府北分団

無火災分団=別府南分団、別府北分団

【団長表彰】

優良団員=板敷和代(団本部)、神門貴洋(中央)、永迫昌之(木原)、大塚健太(立神・班長)、天達俊郎(桜山)、大園豊和(金山)、桑原和志(別府南)、眞茅昌俊(別府北・班長)

【枕崎市消防後援会連絡協議会会長表彰】

功績章=鷺山輝秀(元枕崎市消防団金山分団長)



カツオの初セリ

鰯節の原料となる冷凍カツオの初セリが1月4日の早朝、枕崎漁港で行われました。セリが始まると、会場では威勢のいいかけ声とともに、入札札が飛び交っていました。

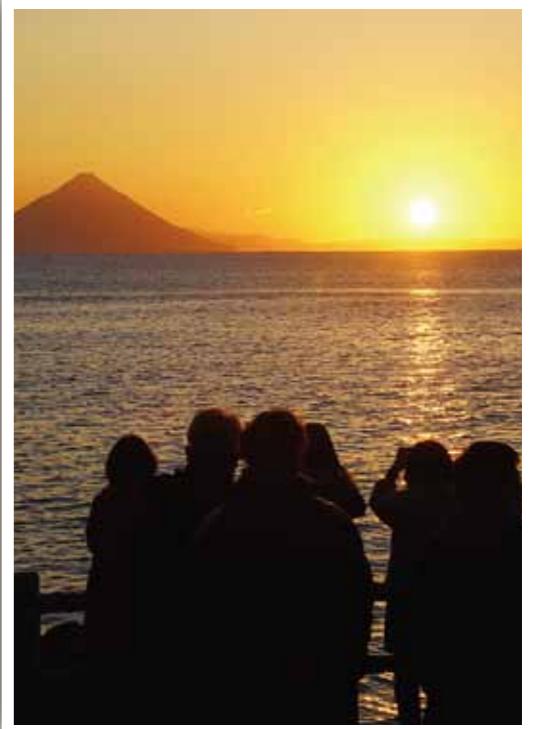


十日蛭子祭

1年の豊漁と航海の安全を祈願する十日蛭子祭が1月10日、台場公園にある蛭子神社で行われました。色とりどりの奉納旗が立つ中、多くの漁業関係者が出席し、厳かな雰囲気の中で神事が行われました。

火の神太鼓保存会 初打ち会

1月1日、枕崎火の神太鼓保存会による初打ち会が火之神公園で行われました。この初打ち会は平成9年から行われており、例年、初日の出の時間に合わせて行われていますが、昨年に引き続き今年も新型コロナウィルス感染症の感染防止対策のため、開催時間を遅らせて行われました。



【火之神公園から望む初日の出】

今年は天候に恵まれ、多くの人たちが火之神公園を訪れました。初日の出が現れると訪れた人たちから歓声が上がり、記念写真を撮る姿が見られました。



新春行事

2022 Photo Snap



鬼火焚き

地域社会の安寧と無病息災、そして一日も早いコロナ収束を願い、1月9日、田布川集落で鬼火焚きが実施されました。

「コロナ収束」と書かれたやぐらに火がつけられると、訪れた人々は高々と燃え上がる炎にそれぞれの願いを込めました。

「火の神乙女太鼓 爽」の演奏や「枕崎舞炎鰯」のよさこいが披露されたほか、サプライズの打ち上げ花火もありました。

二十歳の門出、希望を胸に 新たなスタート

令和4年枕崎市成人式



新成人の門出を祝う成人式が1月3日、市民会館で行われました。新成人180名が出席し、二十歳の門出を祝いしました。会場では旧友との久しぶりの再会に、あちこちで喜びの声が上がり、記念撮影をする姿が見られました。今年も新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、新成人と来賓のみの参加

とし、式の規模を縮小するなどの対策が取られました。新成人を代表して小湊晴矢さんが「今まで自分を支えてくれた家族、友達、先生方、地域の方々に感謝をすることを誓います」と新成人の決意発表を行いました。

ごみの収集回数と収集日の変更について

ごみ収集

全国一斉に緊急情報の伝達試験を実施

令和4年4月1日から、ごみの収集回数の見直しを行います。環境課題の変更になります。環境課題であるごみの排出削減やリサイクル率の向上、地球温暖化対策(脱炭素社会の実現)など、多くの課題を解決するため効果的な環境施策を実施し、その目標は市民一人一人の協力がなければ達成することができません。

ごみ収集体制の変更について、ご理解、ご協力を願いします。
ごみ収集体制の変更について、ご理解、ご協力を願いします。

4月1日からの収集回数と収集日の変更

- もえるごみ 週3回 → 週2回
 - もえないごみ 週1回 → 月1回
 - 資源ごみ これまで通り週1回の収集を行います。
- 問合せ 市民生活課環境整備係 TEL 761097

ごみの種類	枕崎校区	別府校区	桜山・金山校区	立神校区
もえるごみ	月曜日 金曜日	月曜日 金曜日	水曜日 土曜日	水曜日 土曜日
もえないごみ	第1水曜日	第2水曜日	第3金曜日	第4金曜日
資源ごみ	火曜日	火曜日	木曜日	木曜日

●問合せ 総務課危機管理
TEL 761098
※年3～4回実施する全国一斉情報伝達試験のほか、緊急地震速報訓練(年2回)を実施しています。
①防災行政無線チャイム
②「これは、Jアラートのテストです」(3回)
③「こちらは、ぱつさい枕崎市です」
④防災行政無線チャイム

令和4年度市・県民税等の申告受付について

税の申告

2月8日(火)から3月15日(火)まで、令和4年度の市・県民税および国民健康保険税並びに後期高齢者医療保険料に係る所得(令和3年中の所得)の申告を受け付けます。また、簡易な所得税の申告相談についても対象地域の会場で受け付けます。日時・会場などについては、下記の申告受付日程をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症予防対策に伴う注意事項とお願い

- 申告の際は必ず指定の申告会場を確認し、必要書類を準備してご来場ください。
- 発熱など体調不良の症状が見られる場合は、来場をお控えください。
- マスク着用、手指消毒等の感染予防をお願いします。
- 市役所以外に申告会場を設けた日は税務課の窓口での申告は受付できません。対象地域の指定日に都合の悪

い方は『別地域の日時、会場』または『市内全域』の日にお越しください。

- 申告会場では『収支内訳書』『医療費控除の明細書』等の代行作成はしませんので、あらかじめご自宅での事前作成をお願いします。
- 収入が公的年金のみの方、収入なしの方は電話で申告できます。電話申告にご協力ください。

申告に必要な書類の準備はお済みですか?

- 令和3年分の税の申告が2月から始まります。申告時間を短縮できるように領収書をまとめ集計するなど、早めの準備と確認をお願いします。
- 必要書類が整っていない場合、当日に受付できないことがあります。
- や長時間お待たせすることになります。

1月号折り込みチラシまたはお知らせ版1月号をご覧ください。申告日程等の詳細は、本紙

- ◎ 営業所得、農業所得、不動産所得等を申告する方 事前に作成した収支内訳書や収入金額と必要経費をまとめた帳簿等をお持ちください。
※収支内容をまとめていない方は、計算していただいてから申告受付となります。
- ◎ 医療費控除を申告する方 「医療費控除の明細書」「セルフメディケーション税制の明細書」の添付が必要です。必ず事前に領収書を集計した医療費明細書をお持ちください(医療費控除とセルフメディケーション税制は併用できません)。
※領収書を集計していない方は、計算していただけてから申告受付となります。
- ◎ その他注意事項
 - 収入がない場合も申告は必要です。収入がない旨の申告をしてください(扶養対象親族は除く)。
 - 年度途中で退職された方や年末調整されていない方は申告が必要です。
 - 申告がない場合、所得証明書の発行や課税上不利益な取り扱いを受ける場合があります。

申告受付日程

期日	受付時間	対象地域	受付場所
2月8日(火)	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～4時	田布川、金山、木口屋、金山住宅、界守、寺田、上竹中、奥ヶ平、道野	金山センター
2月9日(水)	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～4時	牧園、大塚、大堀、下野原、春日	サン・フレッシュ枕崎
2月10日(木)	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～4時	田中、田畠、塩屋、火之神	サン・フレッシュ枕崎
2月15日(火)	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～4時	山口、小園、下園、宇都、桜馬場、桜山住宅、松下、瀬戸口、中村、宝寿庵、西堀、籠原	妙見センター
2月16日(水)	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～4時	水流、山下、湯穴、木場、木場住宅、通山、岩崎、富岡、潟山	妙見センター
2月17日(木)	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～4時	中原、瀬戸、茅野、小塚、松崎、下山、駒水、真茅、山崎	別府センター
2月18日(金)	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～4時	東白沢、西白沢、板敷、俵積田、鹿水高	別府センター
2月22日(火)	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分	桜木町、高見町、汐見町、西本町、住吉町、千代田町	市役所北別館会議室
2月24日(木)	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分	緑町、山手町、東本町、亀沢、平田潟、石ケ嶺	市役所北別館会議室
2月25日(金)	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分	折口町、港町、恵比須町、中町、旭町、泉町、新町	市役所北別館会議室
3月1日(火)	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分	宮前町、日之出町、木原、岩戸、美初	市役所北別館会議室 <small>*健康センターから変更</small>
3月2日(水)～15日(火)	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分	市内全域	市役所北別館会議室

別府中学校PTAに日本PTA全国協議会表彰



別府中学校PTAが令和3年度日本PTA全国協議会年次表彰を受賞しました。

今回の受賞は、同PTAが校区内のこども園・小学校と「一園二校連絡協議会」をつくり、連携したPTA活動を実施しているほか、同窓会・子ども会・老人クラブ・公民館・伝統芸能保存会等、地域や団体との連携を積極的に行っていることなどが認められたものです。

PTA会長の中村登志子さんは「この賞は長年にわたり行ってきた活動が評価されたものであり、これからも先輩方から引き継いだ活動を保護者一丸となって取り組みたい」と話しました。

医療法人厚生会が市へ寄附金を贈呈



1月11日、医療法人厚生会から寄附金の贈呈があり、市役所で贈呈式が行われました。

今回の寄附金は、同会が発行した「かぎんSDGs推進医療機関債」の一部で、医療機関債発行企業が指定する団体などに対して鹿児島銀行を通して寄附を行い、地域企業と鹿児島銀行が一体となって地域の課題解決を図り、地域発展および持続可能な地域の社会づくりに貢献することを目的とするもので、市教育委員会へ寄附されました。

贈呈式で同会の小原壮一理事長は「非常に厳しい時代となっているが、地域の皆さまのために今後もベストを尽くしていきたい」と話しました。

コミュニティ助成事業 宝くじの助成金で福祉作業所利用者の福祉車両を整備

一般財団法人自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業として行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの受託収入を財源に地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものです。

本年度、本市では地域づくり助成事業として本市が助成を受け、枕崎福祉作業所利用者の送迎用の福祉車両を購入しました。

尻無川の自然環境を守る会に河川愛護運動県知事表彰



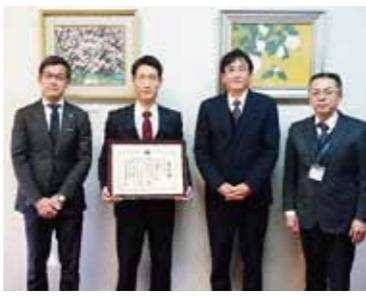
尻無川の自然環境を守る会(木原公民館)が令和3年度河川愛護運動優良団体県知事表彰を受賞し、12月17日に南薩地域振興局建設総務課長から

表彰状が授与されました。

同会では、地域を流れる尻無川の自然環境を守るために、地域住民と流域事業関係者が一体となり、平成12年から21年間にわたり尻無川流域の草払いやEM菌の投入などの環境美化活動に取り組んできました。

同会代表の大工園正弘さんは「住民の皆さんと一致団結して活動をやってくることができ、感謝している。これからも若い方に引き継いでいきたい」と話しました。

田中秀輝教諭に鹿児島県優秀教職員表彰



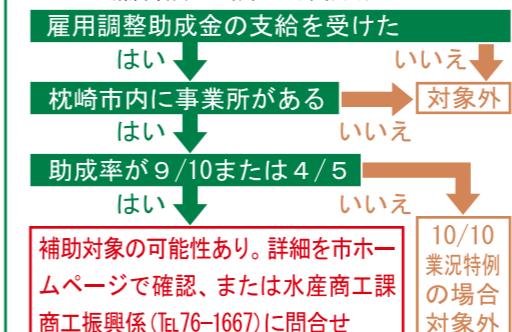
別府小学校の田中秀輝教諭が令和3年度鹿児島県優秀教職員表彰において若手教職員等奨励賞として表彰されました。

この表彰は、学校教育における学習指導や生徒指導、進路指導、体育・保健・給食指導などの各分野において、顕著な実績のある教職員に対してその功績を表彰するもので、今回の表彰は、田中教諭がWeb問題の活用や家庭学習の充実により県の学習定着度調査において県平均通過率を大きく上回る結果を残したことや、南薩地区教育論文で特選を受賞した実績などが認められたものです。

田中教諭は「多くの方々に認められたことが嬉しい。これからも期待に応えられるよう、自分を高めていきたい」と話しました。

雇用調整助成金の支給を受けた方へ「雇用維持等支援事業補助金」申請忘れにご注意を

国の雇用調整助成金の支給決定を受けた事業者で、助成率が9/10または4/5の場合、事業者負担分の一部について市が補助します(補助額: 上限20万円/月)。



※雇用調整助成金の申請を社会保険労務士に依頼した場合の費用の補助も行っています。

対象者
2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高が、2018年11月～2021年3月までの間の任意の同じ月の売上高と比較して50%以上または30%以上50%未満減少した事業者

給付額及び上限額
給付額は「基準期間の売上高」×「対象月の売上高」×5%、事業主は30万円～50万円、法人は60万円～250万円

事業復活支援金

事業者向け新型コロナ関連支援策

てんとうむし体操で楽しく、元気で、長生き



■問合せ 地域包括ケア推進課 TEL73-5131

現在17公民館、350人以上の方が参加!!

本市では、平成27年度から「地域包括ケアシステム構築の一環として、高齢者の孤立防止や介護予防を目的とした「てげてげ広場」事業を行っています。てげてげ広場では、「てんとうむし体操」という、おもりの入ったバンドを手足に取り付け、歌を歌いながらゆっくりと体を動かす体操を週1回、公民館単位で感染予防に配慮して行っています。

さえ合い、仲間づくりに最適!!

住民同士の支え合う互助の意識が高まるよう、生活支援コーディネーターと一緒にさえ愛マップづくりを実施しており、参加者と共に地域課題の堀り起こしを行うことで、改めて地域の実情を知る機会となり、互助による見守り活動にもつながっています。コロナ禍だからこそ、住民同士のつながりや支え合うことの大切さを参加者と共に実感しています。

体操だけじゃない学びの時間も

年1、2回は薬剤師、リハビリ専門職、歯科衛生士、管理栄養士、社会福祉士等の専門職に依頼し、出前講座を開催しています。健康づくりや介護予防の意識を高める機会になっています。

世話役会

世話役会では、各広場の中心になって動いている世話役の方に集まっています。

あなたの公民館でも「てげてげ広場」を始めてみませんか?!

地域に通いの場があるということはとても大切なことで、「てげてげ広場」には、体操だけではない触れ合いや支え合いがあります。「てげてげ広場」を始めてみたい、興味があるという公民館がありましたら、地域包括ケア推進課にご連絡ください。



協力隊 が 行く!

ものづくりの楽しさ

今月の担当は
中崎隊員です!



協力隊の中崎です。椿が綺麗に咲き始め、気付けばもう2月。協力隊の卒業まであと約2カ月になりました。あつという間の3年。だんだんと「枕崎市民」になってきたことを実感します。



楠 拓郎さん (29)

まくひとしごと 枕崎 × 人 × 仕事 No.23

菊農家 / 大塚中町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。

今月は、若手菊農家の方を取材しました。



南九州最大の菊の産地、枕崎市。年間2600万本以上の菊が枕崎から出荷され、本市基幹産業の一つとなっています。今回楠拓郎さんを取材しました。楠拓郎さんは、立神小・中学校、枕崎高校を卒業後、菊農家を営んでいる親からの勧めもあり、鹿児島農業大学へ進学しました。朝早い時は午前2時半頃から出勤することもあったそうですが、品質の良い花きに触れられたことや同僚の人たちとの付き合いなど、学ぶことが多くあり、その当時は楽しくて仕



いろな方が興味を持つてくださいます。状況を見てアドバイスも頂けます。皆さんに見守られています。皆さんに見守られてるな」と感じています。

私はものづくりの現場が好きなので、今回協力隊の活動で農作業をしたことは、とても感慨深いものがありました。学生の頃、写真を撮影して現像しプリントまで

する過程が好きでした。作物を栽培をしたことは、その過程とよく似ていて、写真も思い通り撮影したつもりであって、写真も思い通り撮影したついであっても、いざ現像してプリントしたものを見ると「おや?」というのもあるし、逆に思ってもないような良い写真になつたりします。作物も教えていたいたたとおり、栽培しても上手くいかなかつたり、思ついたよりも発芽率がよく大量に生産できたり。写真も葉液、温度、露光、プリント

紙で色々と変わります。作物も日々の当たり方、土の状態、気温、時期などで生育に変化が出ます。こんなところが大変でもあります。が、自分の性格に合っているのかなと思っています。

農業と○○

「半農半X」という言葉をご存じでしょうか? 「半農半X」という言葉は、塩見直紀氏が提唱した概念です。塩見氏は著書「半農半X」とは小さな農業で食べる分だけの食を得て、ほんとうに必要なものだけを満たす小さな暮らしをし、好きなこと、やりたいことをして積極的に社会とかかわっています。

私の人生は折り返し地点まで

来ていました。農業に関しての経験は圧倒的に少ないです。畑作業を通じての経験値が重要なとと思っていました。現在、栽培、加工、販売までを目標としています。農業だけでも大変!と思つところもあります。今現在、栽培して、加工、販売までを目標としています。農業だけでも大変!と思つところもあります。新しくことに挑戦するのでは大変です。しかしながら、未知の世界を味わえたり、知識を広げられるのは楽しいです。ここ枕崎市は農業を使用しません。畑仕事を他の作物よりも圧倒的に少ないです。その分加工等の時間に費やりますが、私が栽培しているハーブは農業を使用しません。畑仕事を接、電話を入れて開設のお願いをしましたが、対応していただけました。まず、3年前に協定を結んでいた久木田病院と小原病院の2カ所を初めて一時避難施設として開設しました。両施設に私が直接、電話を入れて開設のお願いをしましたが、対応していただけました。心から感謝いたします。また、一時避難施設には若手職員2人が詰めてくれました。2人とも消防団に所属する職員で、心強く感じることでした。さらに、第一避難所に指定している市民会館と妙見センターを避難所として開設しました。そして、午前4時30分頃から7時頃までの間、4回の防災行政無線による注意喚起と避難所開設について放送しました。午前1時52分に60cmの津波(潮位変化)が確認され、幸いにして被害は確認されませんでしたが、新聞報道にもあったように、枕崎漁港沖で実習船での停泊実習中だった鹿児島水産高校の生徒と教諭が一時避難施設に避難(その後、市民会館に移動するなど避難所開設が奏功したものと考えます)して起業し、楽しく暮らせたらと思つています。

こんにちは、前田祝成です。

今月のコラムでは、先日のトンガ沖海底火山の大規模噴火による津波注意報について書きます。

市長コラム

vol. 34



スポーツ・文化イベント情報

南溟館
(開) 9:00～17:00
※入館は16:30まで
毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
スポーツ・文化振興課
TEL72-9998



インスタグラム展

南薩地域の「南薩の人・食・景色・暮らし」をテーマに、約13万人のフォロワーを持つカイセイさん、ほか9名のインスタグラマーが撮影した写真と動画が楽しめる展覧会です。また、地域おこし協力隊の方々が枕崎の地を見て感じたことを収めた写真を展示します。

- 会期 2月5日(土)～27日(日)※月曜休館
- 会場 南溟館(第1展示場・第2展示場・市民ギャラリー)
- 時間 午前9時～午後4時30分
- 観覧料 無料

「南薩とりっぷインスタグラム フォトコンテスト」作品展示

南薩の新たな魅力を再発見することを目的として、南薩で撮影された「南薩の人・食・景色・暮らし」に関する写真をインスタグラム上で応募いただいた写真の中から、約50点展示します。

第3回枕崎国際芸術賞展 今秋開催!



詳しくはこちから→



<審査員> (敬称略)

- ・綱谷幸二
(画家・日本芸術院会員・東京藝術大学名誉教授)
- ・保科豊巳
(画家・東京藝術大学名誉教授)
- ・河口洋一郎
(アーティスト・東京大学名誉教授)
- ・上原利丸
(染色アーティスト・東京藝術大学美術学部教授)

1月16日午前4時7分、枕崎市に津波注意報が発表されました。前日の午後1時頃(日本時間)に南太平洋のトンガ沖で発生した海底火山の大規模噴火の影響による津波ではなく、海底火山の噴火の空振によるものとされる今回の津波への影響を気象庁も測りかねる予測の難しい津波注意報に、本市の対応も難しいものがありました。

本市では、午前1時頃から気象台からの情報提供により、総務課危機管理対策係の職員が府内に待機をしておりましたが、注意報が発表された約20分後の4時30分には「災害警戒本部」を立ち上げました。まず、3年前に協定を結んでいた久木田病院と小原病院の2カ所を初めて一時避難施設として開設しました。両施設に私が直接、電話を入れて開設のお願いをしましたが、対応していただけました。心から感謝いたします。また、一時避難施設には若手職員2人が詰めてくれました。2人とも消防団に所属する職員で、心強く感じることでした。さらに、第一避難所に指定している市民会館と妙見センターを避難所として開設しました。そして、午前4時30分頃から7時頃までの間、4回の防災行政無線による注意喚起と避難所開設について放送しました。午前1時52分に60cmの津波(潮位変化)が確認され、幸いにして被害は確認されませんでしたが、新聞報道にもあったように、枕崎漁港沖で実習船での停泊実習中だった鹿児島水産高校の生徒と教諭が一時避難施設に避難(その後、市民会館に移動するなど避難所開設が奏功したものと考えます)して起業し、楽しく暮らせたらと思つています。



九九リんピック

■12月10日、枕崎小学校2年生の算数の授業で掛け算九九の暗唱を行う「九九リんピック」が開催されました。まくらざき学校応援団の方々の協力をもらいながら、決められた時間内にいくつ九九を覚えたかを記録しました。



桜山小学校で
地域住民と餅つき

■12月16日、桜山小学校5年生の総合的な学習の時間に地域学校協働活動として地域の方々と一緒に餅つきが行われました。今回使用されたもち米は学校田で作ったもので、今回の活動は3年ぶりの開催でした。



高齢者とそまんずしづくり

■12月18日、別府地区公民館で高齢者と子どもたちとのふれあい交流「そまんずしづくり」が2年ぶりに開催され、地域住民など約170名が参加しました。



弁護士による
いじめ防止教室

■1月13日、立神小学校6年生の学級活動の時間に弁護士によるいじめ防止教室が開催されました。

講師を務めた弁護士の松田直行さんは、法律的な観点からいじめは許されない行為だと訴えました。

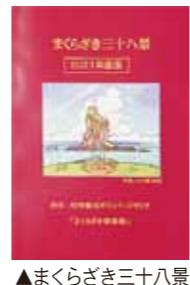


枕崎の魅力が詰まった1冊がリニューアル ～まくらざき探検隊が「まくらざき三十八景」を発行

2019年に発行された「まくらざき三十六景」に新たな観光スポットを加えた「まくらざき三十八景」が、11月24日に発行されました。

今回発行された「まくらざき三十八景」は、鯉節の本枯節をイメージしたルビー色の表紙となっており、新たに6カ所の遺跡と景勝地が枝番で追加されました。また、前回の三十六景に引き続き英字と簡体字に翻訳できる二次元バーコードも掲載されています。

「まくらざき三十八景」は駅前観光案内所や枕崎あ魚センター内の枕崎観光協会などに設置されています。



▲まくらざき三十八景



100歳おめでとうございます ～白澤チミさん(白沢東町)

1月10日に白澤チミさんがめでたく100歳の誕生日を迎え、17日に市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

枕崎出身の白澤さんは5人の子宝に恵まれ、若い頃は農業をしており、さつま芋やグリンピースを作っていました。現在は月刊誌「家の光」を愛読し、花を育てたり、押し花を作ったりしているという白澤さん、長生きの秘訣は「好き嫌いは多いがよく食べること」と話します。

これからも元気で長生きしてください。



教頭先生の名前が小惑星の名称に ～小惑星「Maedatoshihisa」が誕生

1997年に北海道で発見された小惑星に枕崎高校教頭の前田利久さんの名前が付けられ、「Maedatoshihisa」と命名されました。

この小惑星は火星と木星の間にある直径4.8キロメートルの小天体で、約4年半かけて太陽を一周しています。アマチュア天文家が発見したものの、ずっと無名のままでした。小惑星の名称には、地名や歴史上の人物名がよく付けられますが、今回、天体観望会の企画や天文に関する講演会などの天文普及活動を熱心に行っている鹿児島県天文協会会长の前田さんの名前を東亞天文学会が推薦し、昨年10月に国際天文学連合に採択されました。

前田さんは「星の名前は私がいなくなっていて残っていぐので、大変光栄なことだと思う」と話しました。



立神小学校の児童が地場産業の菊を収穫 ～立神小学校で菊の収穫体験

12月14日、立神小学校6年生の総合的な学習の時間の授業で菊の収穫体験が行われました。

今回収穫した菊は、立神の地場産業である菊の栽培について学ぼうと、地元の菊農家の方に指導をもらいながら、9月に校内のビニールハウスに植え付けを行ったもので、シーグレコ(黄色)500本、ハクスイ(白色)300本、舞風車(ピンク色)300本、シーフリル(ピンク色)100本の4種類、計1,200本が収穫されました。

収穫体験を行った大迫来達さんは「おばあちゃんにあげるので、お墓や仏様に飾ってもらいたい」と話してくれました。

旬のお便り

地元生産者応援企画
枕崎で生産される旬の農産物を紹介します！



実エンドウ

実 エンドウは、別名グリンピースとも呼ばれ、サヤが若い状態で収穫されたものは「サヤエンドウ」、中の実が未成熟の状態で収穫されたものは「実エンドウ」、中の実が熟した状態で収穫されたものは「エンドウ豆」と区別されます。

実エンドウは食物繊維を多く含み、腸内環境を整える働きがあり、そのほかにもたんぱく質、カリウム、ビタミンB1なども豊富に含まれており、栄養価の高い野菜と

言えます。

鹿児島県の実えんどうは作付け面積、出荷量ともに全国第2位を誇り、県を代表する特産品の一つです。炊き込みごはんや卵とじ、炒め物などのほか、料理の彩りにも使えます。

おすすめ料理
豆ごはん



実エンドウをご飯と一緒に炊くとご飯にしっかりと豆の味が付き、茹でた豆を後でご飯に混ぜる方法だと豆の色合いが綺麗になります。

